

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（バンクローン）	
信託期間	2029年5月18日まで（2014年5月27日設定）	
運用方針	<p>主として円建ての外国投資信託であるウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーJ P Y ヘッジド・クラスの投資信託証券への投資を通じて、米ドル建ての米国企業向けバンクローン（貸付債権）等を中心に実質的な投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。</p> <p>当該外国投資信託においては、米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券等にも投資を行います。</p> <p>なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。</p> <p>実質的な組入外貨建資産については、原則として投資する外国投資信託において為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。</p> <p>投資対象とする円建外国投資信託の運用は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーが行います。</p> <p>円建外国投資信託等への投資にあたり、ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社の投資助言を受けます。</p>	
主要運用対象	米ドルバンクローン・オープン<為替ヘッジあり>（毎月決算型）	ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーJ P Y ヘッジド・クラスおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーJ P Y ヘッジド・クラス	米ドル建ての米国企業向けバンクローン等を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。原則として、配当等収益や分配対象額の水準等を考慮し、安定した分配を継続することをめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。なお、第3計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）」およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

米国バンクローン・オープン <為替ヘッジあり> （毎月決算型）



第109期（決算日：2023年6月20日）
 第110期（決算日：2023年7月20日）
 第111期（決算日：2023年8月21日）
 第112期（決算日：2023年9月20日）
 第113期（決算日：2023年10月20日）
 第114期（決算日：2023年11月20日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>（毎月決算型）」は、去る11月20日に第114期の決算を行いましたので、法令に基づいて第109期～第114期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
 フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

おかげさまで、当ファンドは2023年11月20日に決算を行いました。ここに当期間の運用状況をご報告申し上げます。

■運用のポイント

それでは、当期間の運用で主眼に置いたポイントをご説明させていただきます。

・より慎重な銘柄選択

バンクローンのバリュエーションは依然として魅力的と判断しておりました。市場では、ファンダメンタルズの低下とデフォルト率の上昇が予想され、スプレッドは、デフォルト率が長期平均を上回る可能性を織り込んでおりました。2022年はリテールからの資金流出が逆風となりましたが、ローン担保証券（CLO）からの緩やかな需要やバンクローンの新規発行額が低水準にあることから、バンクローン市場の需給環境はある程度支えられると判断しました。新型コロナウイルスのパンデミックによる落ち込みからの回復途上である消費者セクターに対して積極姿勢とする一方、化学、通信など一部セクターに対しては引き続き消極姿勢としました。

・環境を見極め、リスク度合いを調整

信用格付けは比較的良好、またファンダメンタルズが堅調なことから、デフォルト率は市場予想より低位で推移する可能性もあるとみておりました。スプレッド・リスクのオーバーウエイトと高格付け銘柄のオーバーウエイトを継続しました。

セクターについては、クレジットオリティは全体的には堅調に推移しているものの、ファンダメンタルズの悪化が大きいセクターと改善傾向にあるセクターがあり、ばらつきが生じています。新型コロナウイルスのパンデミックによる落ち込みからの回復途上である消費者セクターに対して積極姿勢とする一方、化学、通信など、一部セクターに対しては引き続き消極姿勢としました。

上記は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものです。

■投資環境見通しと今後の運用方針

世界的に経済成長が減速し、インフレ率も世界的に総じて低下している中、主要中央銀行は金融引き締め政策を継続しています。世界経済の成長率やインフレ率は鈍化していくとみており、先進国の国債利回りは低下基調となると予想しています。ただ、予想を上回る米国の経済成長、増大する財政赤字を賄うための米国債の供給増加、各国中銀の目標を上回る水準が続くインフレ率などの要因を背景に、「高金利の長期化」への懸念が浮上しており、市場ボラティリティの上昇につながる可能性があります。

バンクローン市場では、レバレッジが高い企業の満期が近いローン等においてはデフォルト率が過去平均を上回る可能性がある一方、バンクローンのバリュエーションは依然魅力的な水準にあると見ています。また、ローン担保証券（CLO）からの緩やかな需要やバンクローンの新規発行額が低水準にあることから、バンクローン市場の需給環境はある程度支えられると思われれます。

今後の投資戦略については、新型コロナウイルスのパンデミックによる落ち込みからの回復途上である消費者関連セクターを積極姿勢とする一方、化学、通信等のセクターに対しては消極姿勢とする方針です。



ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー
ポートフォリオ・マネージャー
ライアン・コーハン

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率				
	円		円	%	%	%	%	百万円
85期(2021年6月21日)	6,908		25	0.4	—	—	99.5	4,347
86期(2021年7月20日)	6,884		25	0.0	—	—	99.0	4,313
87期(2021年8月20日)	6,869		25	0.1	—	—	99.0	4,287
88期(2021年9月21日)	6,888		25	0.6	—	—	99.0	4,230
89期(2021年10月20日)	6,883		25	0.3	—	—	99.0	4,109
90期(2021年11月22日)	6,860		25	0.0	—	—	99.0	4,054
91期(2021年12月20日)	6,823		25	△0.2	—	—	99.0	4,105
92期(2022年1月20日)	6,838		25	0.6	—	—	99.0	4,080
93期(2022年2月21日)	6,770		25	△0.6	—	—	99.5	4,008
94期(2022年3月22日)	6,677		25	△1.0	—	—	99.0	3,927
95期(2022年4月20日)	6,750		25	1.5	—	—	99.4	4,098
96期(2022年5月20日)	6,523		25	△3.0	—	—	114.2	3,914
97期(2022年6月20日)	6,409		25	△1.4	—	—	99.0	4,328
98期(2022年7月20日)	6,338		25	△0.7	—	—	99.0	4,269
99期(2022年8月22日)	6,450		25	2.2	—	—	99.4	4,326
100期(2022年9月20日)	6,380		25	△0.7	—	—	99.1	4,259
101期(2022年10月20日)	6,244		25	△1.7	—	—	99.1	4,155
102期(2022年11月21日)	6,235		25	0.3	—	—	99.4	3,999
103期(2022年12月20日)	6,182		25	△0.4	—	—	99.0	3,579
104期(2023年1月20日)	6,230		25	1.2	—	—	99.2	3,600
105期(2023年2月20日)	6,230		25	0.4	—	—	99.4	3,584
106期(2023年3月20日)	6,141		25	△1.0	—	—	99.0	3,508
107期(2023年4月20日)	6,167		25	0.8	—	—	99.4	3,508
108期(2023年5月22日)	6,099		15	△0.9	—	—	98.6	3,441
109期(2023年6月20日)	6,122		15	0.6	—	—	99.2	3,347
110期(2023年7月20日)	6,164		15	0.9	—	—	99.4	3,310
111期(2023年8月21日)	6,136		15	△0.2	—	—	99.0	3,266
112期(2023年9月20日)	6,152		15	0.5	—	—	99.4	3,254
113期(2023年10月20日)	6,097		15	△0.7	—	—	99.1	3,202
114期(2023年11月20日)	6,090		15	0.1	—	—	99.0	3,100

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	託 券 率
第109期	(期 首) 2023年5月22日	円 6,099	% -		% -		% -		% 98.6	
	5月末	6,092	△0.1		-		-		99.1	
	(期 末) 2023年6月20日	6,137	0.6		-		-		99.2	
第110期	(期 首) 2023年6月20日	6,122	-		-		-		99.2	
	6月末	6,135	0.2		-		-		99.0	
	(期 末) 2023年7月20日	6,179	0.9		-		-		99.4	
第111期	(期 首) 2023年7月20日	6,164	-		-		-		99.4	
	7月末	6,166	0.0		-		-		99.2	
	(期 末) 2023年8月21日	6,151	△0.2		-		-		99.0	
第112期	(期 首) 2023年8月21日	6,136	-		-		-		99.0	
	8月末	6,156	0.3		-		-		99.2	
	(期 末) 2023年9月20日	6,167	0.5		-		-		99.4	
第113期	(期 首) 2023年9月20日	6,152	-		-		-		99.4	
	9月末	6,138	△0.2		-		-		99.4	
	(期 末) 2023年10月20日	6,112	△0.7		-		-		99.1	
第114期	(期 首) 2023年10月20日	6,097	-		-		-		99.1	
	10月末	6,070	△0.4		-		-		99.4	
	(期 末) 2023年11月20日	6,105	0.1		-		-		99.0	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

運用経過

第109期～第114期：2023年5月23日～2023年11月20日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第109期首	6,099円
第114期末	6,090円
既払分配金	90円
騰落率	1.3%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ1.3%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

米国バンクローン市況が上昇したこと等が基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

信託報酬等の運用上の費用を計上したことや、為替ヘッジによるコスト等が基準価額の下落要因となりました。

第109期～第114期：2023年5月23日～2023年11月20日

投資環境について

▶ バンクローン市況

米国バンクローン市況は上昇しました。

米国バンクローン市況は、米国の利上げ停止期待を背景に企業業績の圧迫懸念が後退した局面でスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小したこと等から、上昇しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期間の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.013%となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>（毎月決算型）

円建ての外国投資信託であるウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーJPYヘッジド・クラスを高位に組み入れた運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

▶ ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーJPYヘッジド・クラス

主に米ドル建ての米国企業向けバンクローンを高位に組み入れ、米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券等を一部組み入れました。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行

い為替変動リスクの低減を図りました。投資戦略については、格付配分では、BB格とB格相当への投資比率を高位で維持しました。また、セクター配分では、通信セクター等への投資比率を低位で維持しました。一方、一般消費財セクター等への投資比率を高位で維持しました。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド コール・ローン等短期金融商品を活用し、 利子等収益の確保を図りました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第109期 2023年5月23日~ 2023年6月20日	第110期 2023年6月21日~ 2023年7月20日	第111期 2023年7月21日~ 2023年8月21日	第112期 2023年8月22日~ 2023年9月20日	第113期 2023年9月21日~ 2023年10月20日	第114期 2023年10月21日~ 2023年11月20日
当期分配金 （対基準価額比率）	15 (0.244%)	15 (0.243%)	15 (0.244%)	15 (0.243%)	15 (0.245%)	15 (0.246%)
当期の収益	15	15	15	15	15	15
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	427	437	445	453	459	466

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>（毎月決算型）

円建て外国投資信託への投資を通じて、主に米ドル建ての米国企業向けバンクローン等を実質的な投資を行うほか、米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券等にも投資を行います。また、一部マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組み入れを維持します。

▶ ウェスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドー J P Y ヘッジド・クラス

今後の投資戦略については、企業が保有資産に対する十分な担保を保持しているかどうか、また強固で継続的なキャッシュフローを生み出せるかどうか、といった観点等に着目し、慎重な銘柄選択に努めます。

保有外貨建資産に対し、原則として、米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行います。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2023年5月23日～2023年11月20日

1万口当たりの費用明細

項目	第109期～第114期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	38	0.615	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(13)	(0.216)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(23)	(0.383)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	38	0.617	

作成期中の平均基準価額は、6,130円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

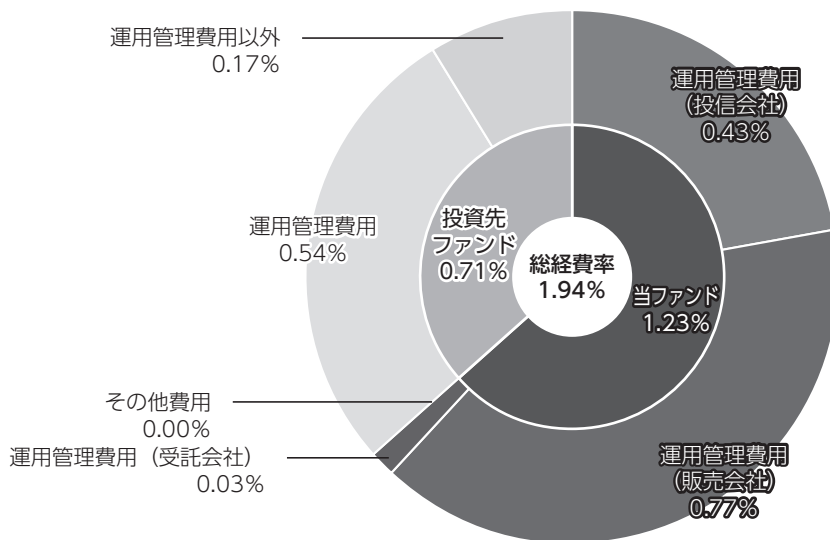
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.94%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.94
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.23
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.54
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.17

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 入手し得る情報において含まれていない費用はありません。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年5月23日～2023年11月20日)

投資信託証券

銘柄		第109期～第114期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ウエスタン・アセット・米国バンクローン (オフショア) ファンド-JPY ヘッジド・クラス	千口 15	千円 89,958	千口 67	千円 390,070

(注) 金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第109期～第114期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・マーケット・マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 3,446	千円 3,509

○利害関係人との取引状況等

(2023年5月23日～2023年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年11月20日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第108期末	第114期末		
		口数	口数	評価額	比率
	ウエスタン・アセット・米国バンクローン (オフショア) ファンド-JPY ヘッジド・クラス	千口 584	千口 532	千円 3,069,377	% 99.0
合計		584	532	3,069,377	99.0

(注) 比率は米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型) の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘 柄	第108期末	第114期末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・マーケット・マザーファンド	千口 3,545	千口 98	千円 100

○投資信託財産の構成

（2023年11月20日現在）

項 目	第114期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 3,069,377	% 98.1
マネー・マーケット・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	60,798	1.9
投資信託財産総額	3,130,275	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末	第114期末
	2023年6月20日現在	2023年7月20日現在	2023年8月21日現在	2023年9月20日現在	2023年10月20日現在	2023年11月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,367,231,150	3,326,149,197	3,278,386,788	3,266,958,073	3,218,458,623	3,130,275,676
コール・ローン等	42,978,522	31,496,700	40,773,195	30,353,359	41,004,571	32,627,986
投資信託受益証券(評価額)	3,320,643,274	3,291,043,143	3,234,004,239	3,232,995,360	3,173,844,698	3,069,377,690
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	3,609,354	3,609,354	3,609,354	3,609,354	3,609,354	100,000
未収入金	—	—	—	—	—	28,170,000
(B) 負債	19,457,399	15,218,928	12,169,372	12,814,484	16,420,237	30,134,107
未払収益分配金	8,203,184	8,056,969	7,984,430	7,934,953	7,878,228	7,635,889
未払解約金	7,933,216	3,780,285	615,000	1,557,536	5,249,271	19,190,733
未払信託報酬	3,312,073	3,372,631	3,560,365	3,313,117	3,283,978	3,298,687
未払利息	103	61	92	55	14	12
その他未払費用	8,823	8,982	9,485	8,823	8,746	8,786
(C) 純資産総額(A-B)	3,347,773,751	3,310,930,269	3,266,217,416	3,254,143,589	3,202,038,386	3,100,141,569
元本	5,468,789,568	5,371,312,925	5,322,953,388	5,289,969,101	5,252,152,557	5,090,593,260
次期繰越損益金	△2,121,015,817	△2,060,382,656	△2,056,735,972	△2,035,825,512	△2,050,114,171	△1,990,451,691
(D) 受益権総口数	5,468,789,568口	5,371,312,925口	5,322,953,388口	5,289,969,101口	5,252,152,557口	5,090,593,260口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,122円	6,164円	6,136円	6,152円	6,097円	6,090円

○損益の状況

項 目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
	2023年5月23日～ 2023年6月20日	2023年6月21日～ 2023年7月20日	2023年7月21日～ 2023年8月21日	2023年8月22日～ 2023年9月20日	2023年9月21日～ 2023年10月20日	2023年10月21日～ 2023年11月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	14,236,315	15,113,117	15,604,852	14,897,976	14,315,860	14,424,762
受取配当金	14,238,430	15,114,715	15,606,767	14,899,362	14,316,431	14,425,193
受取利息	—	45	4	33	52	2
支払利息	△ 2,115	△ 1,643	△ 1,919	△ 1,419	△ 623	△ 433
(B) 有価証券売買損益	9,793,896	19,131,158	△ 18,953,716	4,524,129	△ 31,986,732	△ 6,881,778
売買益	10,140,772	19,389,204	167,708	4,538,328	219,339	471,141
売買損	△ 346,876	△ 258,046	△ 19,121,424	△ 14,199	△ 32,206,071	△ 7,352,919
(C) 信託報酬等	△ 3,320,896	△ 3,381,613	△ 3,569,850	△ 3,321,940	△ 3,292,724	△ 3,307,473
(D) 当期損益金(A+B+C)	20,709,315	30,862,662	△ 6,918,714	16,100,165	△ 20,963,596	4,235,511
(E) 前期繰越損益金	△1,531,651,412	△1,489,672,606	△1,453,112,124	△1,458,368,063	△1,439,293,134	△1,422,404,307
(F) 追加信託差損益金	△ 601,870,536	△ 593,515,743	△ 588,720,704	△ 585,622,661	△ 581,979,213	△ 564,647,006
(配当等相当額)	(81,440,280)	(80,244,999)	(79,580,732)	(79,146,856)	(78,641,556)	(76,285,979)
(売買損益相当額)	(△ 683,310,816)	(△ 673,760,742)	(△ 668,301,436)	(△ 664,769,517)	(△ 660,620,769)	(△ 640,932,985)
(G) 計(D+E+F)	△2,112,812,633	△2,052,325,687	△2,048,751,542	△2,027,890,559	△2,042,235,943	△1,982,815,802
(H) 収益分配金	△ 8,203,184	△ 8,056,969	△ 7,984,430	△ 7,934,953	△ 7,878,228	△ 7,635,889
次期繰越損益金(G+H)	△2,121,015,817	△2,060,382,656	△2,056,735,972	△2,035,825,512	△2,050,114,171	△1,990,451,691
追加信託差損益金	△ 601,870,536	△ 593,515,743	△ 588,720,704	△ 585,622,661	△ 581,979,213	△ 564,647,006
(配当等相当額)	(81,440,280)	(80,244,999)	(79,580,732)	(79,146,856)	(78,641,556)	(76,285,979)
(売買損益相当額)	(△ 683,310,816)	(△ 673,760,742)	(△ 668,301,436)	(△ 664,769,517)	(△ 660,620,769)	(△ 640,932,985)
分配準備積立金	152,398,425	155,005,587	157,602,629	160,981,659	162,915,506	161,322,284
繰越損益金	△1,671,543,706	△1,621,872,500	△1,625,617,897	△1,611,184,510	△1,631,050,464	△1,587,126,969

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

① 作成期首(前作成期末)元本額 5,643,280,949円

 作成期中追加設定元本額 18,903,214円

 作成期中一部解約元本額 571,590,903円

 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.6090円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,990,451,691円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2023年5月23日～ 2023年6月20日	2023年6月21日～ 2023年7月20日	2023年7月21日～ 2023年8月21日	2023年8月22日～ 2023年9月20日	2023年9月21日～ 2023年10月20日	2023年10月21日～ 2023年11月20日
費用控除後の配当等収益額	12,268,983円	13,620,784円	12,034,958円	12,349,684円	11,023,123円	11,117,289円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	81,440,280円	80,244,999円	79,580,732円	79,146,856円	78,641,556円	76,285,979円
分配準備積立金額	148,332,626円	149,441,772円	153,552,101円	156,566,928円	159,770,611円	157,840,884円
当ファンドの分配対象収益額	242,041,889円	243,307,555円	245,167,791円	248,063,468円	249,435,290円	245,244,152円
1万口当たり収益分配対象額	442円	452円	460円	468円	474円	481円
1万口当たり分配金額	15円	15円	15円	15円	15円	15円
収益分配金金額	8,203,184円	8,056,969円	7,984,430円	7,934,953円	7,878,228円	7,635,889円

○分配金のお知らせ

	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
1万口当たり分配金 (税込み)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。

2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。

(2023年10月1日)

＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーJ P Y ヘッジド・クラス
運用方針	主として米ドル建ての米国企業向けバンクローンに投資を行い、利子収益の確保をめざします。原則として、対円での為替ヘッジを行います。
主要運用対象	米ドル建ての米国企業向けバンクローン等
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常、純資産総額の80%以上をバンクローンに投資します。 ・ 通常、純資産総額の20%まで、ハイイールド債券等に投資できるものとします。 ・ 原則として、米国以外の先進国の企業向けバンクローンや、米国以外の先進国の企業が発行するハイイールド債券等への投資は純資産総額の20%以内とします。 ・ 原則として、米ドル以外の先進国通貨への投資は純資産総額の20%以内とします。この場合、米ドル以外の通貨売り、米ドル買いの為替取引を行います。 ・ 原則として、取得時においてB一格相当以上の格付けを有するバンクローン、債券等に投資します。
決算日	原則として毎年3月31日
分配方針	原則として毎月分配を行う方針です。

※ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーJ P Y ヘッジド・クラスについては、資金流入にともない発生する取引費用などによる当該投資信託証券の純資産への影響を軽減するため、資金流入が純流入の場合は純資産価格が上方に、純流出の場合は下方に調整が行われることがあります。したがって、資金流入の動向が純資産価格に影響を与えることになります。

運用計算書、純資産変動計算書、投資有価証券明細表はWestern Asset U.S. Bank Loan (Offshore) Fund For the Year Ended March 31, 2023版から抜粋して作成しています。なお、開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、クラスを合算したウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドで掲載しています。

(1) 運用計算書

ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンド
 (2022年4月1日～2023年3月31日)

ウエスタン・アセット・
 米国バンクローン（オフショア）
 ファンド
 米ドル

投資収入：	
金利（源泉徴収税控除後\$3,355）	13,626,197
費用：	
運用報酬	939,906
貸出金サービシング手数料	145,999
保管費用	108,000
管理、会計、代行費用	63,810
専門家報酬	47,351
受託報酬	28,930
その他	15,876
費用合計	1,349,872
投資純収入	12,276,325
実現純利益（損失）、未実現評価益（評価損）の純変動	
実現純利益（損失）	
投資	(8,806,673)
為替取引	10,596
為替先物取引	(6,937,066)
実現純利益（損失）	(15,733,143)
未実現評価益（評価損）の純変動：	
投資及びその他の資産	(3,608,198)
為替取引	(123)
為替先物取引	533,540
未払い取引	(74,277)
未実現評価益（評価損）の純変動	(3,149,058)
実現純利益（損失）、未実現評価益（評価損）の純変動	(18,882,201)
運用による純資産の純増（減）額	(6,605,876)

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(2) 純資産変動計算書

ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンド

(2022年4月1日～2023年3月31日)

ウエスタン・アセット・
米国バンクローン（オフショア）
ファンド

米ドル

運用：	
投資純収入	12,276,325
実現純利益（損失）	(15,733,143)
未実現評価益（評価損）の純変動	(3,149,058)
運用による純資産の純増（減）額	(6,605,876)
分配：	
JPY Hedged Class	(3,356,170)
JPY Unhedged Class	(14,618,759)
分配金額合計	(17,974,929)
ファンドユニット取引：	
ファンドユニット取引による純資産の純増（減）額	(18,857,567)
純資産の増（減）額合計	(43,438,372)
純資産：	
期首	214,771,346
期末	171,332,974

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(3) 投資有価証券の概要表 (the schedule of Investments)
 ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンド
 (2023年3月31日現在)

投資有価証券の公正価値	コスト	公正価値
NOTES AND DEBENTURES		
Canada		
Airlines - 0.6%		\$ 908,405
Environmental Control - 0.5%		904,987
Total Canada - 1.1%	\$ 1,818,147	1,813,392
Cayman Islands		
Airlines - 1.1%		1,950,542
Total Cayman Islands - 1.1%	1,981,414	1,950,542
United States		
Aerospace/Defense - 0.7%		1,121,722
Agriculture - 0.3%		478,800
Diversified Financial Services - 1.3%		2,157,783
Engineering & Construction - 0.2%		317,806
Environmental Control - 0.5%		866,115
Healthcare-Products - 0.5%		867,648
Healthcare-Services - 0.1%		258,247
Media - 0.7%		1,207,558
REITs - 0.7%		1,153,913
Telecommunications - 0.4%		774,913
Total United States - 5.4%	9,578,410	9,204,505
TOTAL NOTES AND DEBENTURES - 7.6%	13,377,971	12,968,439
TERM LOANS (FUNDED)		
Australia		
Environmental - 0.6%		993,126
Media Entertainment - 0.5%		867,708
Total Australia - 1.1%	1,923,255	1,860,834
Canada		
Environmental - 0.6%		1,098,795
Industrial Other - 0.5%		877,434
Lodging - 0.6%		973,419
Total Canada - 1.7%	2,940,008	2,949,648
Ireland		
Non Captive Diversified - 0.4%		656,475
Total Ireland - 0.4%	634,932	656,475
Netherlands		
Building Materials - 0.1%		267,567
Total Netherlands - 0.1%	295,092	267,567
Spain		
Pharmaceuticals - 1.0%		1,688,111
Total Spain - 1.0%	1,697,421	1,688,111
United Kingdom		
Gaming - 0.3%		501,173
Total United Kingdom - 0.3%	501,250	501,173
United States		
Aerospace/Defense - 1.0%		1,684,130
Airlines - 2.2%		3,734,718
Automotive - 1.1%		1,894,337
Brokerage - 5.7%		9,713,084
Building Materials - 2.4%		4,131,556
Cable - Satellite - 1.0%		1,722,871

投資有価証券の公正価値	コスト	公正価値
TERM LOANS (FUNDED) (Continued)		
United States (Continued)		
Chemicals - 0.7%	\$	1,215,036
Construction Machinery - 0.5%		938,736
Consumer Cyclical Services - 3.2%		5,467,807
Consumer Products - 4.0%		6,845,274
Diversified Manufacturing - 2.5%		4,314,923
Entertainment - 2.4%		4,162,686
Environmental - 1.6%		2,824,333
Financial Other - 3.2%		5,401,117
Food & Beverage - 2.3%		4,022,707
Gaming - 4.5%		7,658,656
Healthcare - 8.1%		13,797,679
Industrial Other - 3.3%		5,621,879
Lodging - 0.3%		578,954
Media Entertainment - 2.3%		3,935,263
Non Captive Diversified - 0.6%		986,786
Oil & Gas - 0.3%		506,712
Paper - 1.4%		2,352,036
Pharmaceuticals - 1.5%		2,652,667
Property & Casualty - 4.4%		7,544,505
REITs - 1.8%		2,998,790
Retailers - 6.0%		10,336,713
Technology - 12.0%		20,540,241
Transportation Services - 4.3%		7,371,737
Total United States - 84.6%	\$ 149,231,672	144,955,933
TOTAL TERM LOANS (FUNDED) - 89.2%	<u>157,223,630</u>	<u>152,879,741</u>
TOTAL INVESTMENTS IN SECURITIES - 96.8%	<u>\$ 170,601,601</u>	<u>\$ 165,848,180</u>
OTHER ASSETS IN EXCESS OF LIABILITIES		<u>5,484,794</u>
NET ASSETS		<u><u>\$ 171,332,974</u></u>
REIT Real Estate Investment Trust.		
Derivative Contracts, at fair value:		
Forward Foreign Currency Contracts		UNREALIZED (LOSS)
Unrealized (Loss) on Contracts to receive JPY for USD	\$	(623,031)
Total Net Unrealized (Loss) on Forward Foreign Currency Contracts		<u><u>\$ (623,031)</u></u>
Currency Legend		
JPY - Japanese Yen		
USD - U.S. Dollar		

マネー・マーケット・マザーファンド

《第38期》決算日2023年11月20日

[計算期間：2023年5月23日～2023年11月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、11月20日に第38期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第38期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	純資産額
34期(2021年11月22日)	10,182	0.0	—	—	1,637
35期(2022年5月20日)	10,182	0.0	—	—	2,897
36期(2022年11月21日)	10,181	△0.0	—	—	2,660
37期(2023年5月22日)	10,181	0.0	—	—	2,921
38期(2023年11月20日)	10,181	0.0	—	—	3,393

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	債券率
(期首) 2023年5月22日	10,181	—	—	—	—
5月末	10,181	0.0	—	—	—
6月末	10,181	0.0	—	—	—
7月末	10,181	0.0	—	—	—
8月末	10,181	0.0	—	—	—
9月末	10,181	0.0	—	—	—
10月末	10,181	0.0	—	—	—
(期末) 2023年11月20日	10,181	0.0	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

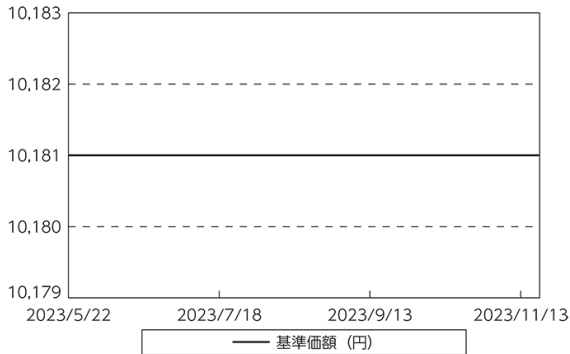
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

- ・無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。
- ・当期間の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.013%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

- ・今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2023年5月23日～2023年11月20日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2023年5月23日～2023年11月20日)

その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 322,399,871	千円 321,899,877

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2023年5月23日～2023年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年11月20日現在)

国内その他有価証券

区分	当期	期末
	評価額	比率
コマーシャル・ペーパー	千円 2,799,997	% 82.5

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2023年11月20日現在)

項目	当期	期末
	評価額	比率
その他有価証券	千円 2,799,997	% 82.5
コール・ローン等、その他	593,717	17.5
投資信託財産総額	3,393,714	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年11月20日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	3,393,714,808
コール・ローン等	593,717,773
その他有価証券(評価額)	2,799,997,035
(B) 負債	261
未払解約金	43
未払利息	218
(C) 純資産総額(A-B)	3,393,714,547
元本	3,333,531,344
次期繰越損益金	60,183,203
(D) 受益権総口数	3,333,531,344口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,181円

<注記事項>

- ①期首元本額 2,870,024,150円
 期中追加設定元本額 644,599,674円
 期中一部解約元本額 181,092,480円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0181円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)	2,228,013,587円
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	568,143,019円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035(確定拠出年金)	110,083,425円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2030	76,382,303円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドA>	61,991,356円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	38,044,882円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	24,765,135円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>(毎月分配型)	18,468,833円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	13,122,469円
ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	13,053,165円
ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド(毎月分配型)	11,784,347円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	10,743,284円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	9,893,887円
マネープールファンド(FOF用)(適格機関投資家限定)	9,871,149円
ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(年2回決算型)	9,376,245円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2030	7,690,306円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)	7,489,236円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	7,196,270円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	6,895,341円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース(為替ヘッジなし)	6,887,212円
ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり>(年2回決算型)	6,675,966円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>(毎月分配型)	5,812,610円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	5,548,198円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>(毎月分配型)	5,541,524円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース(為替ヘッジあり)	5,484,593円
三菱UFJ/ピムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	5,411,821円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース>(毎月分配型)	4,489,124円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	4,289,171円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	3,857,128円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>(年2回分配型)	3,319,056円

○損益の状況 (2023年5月23日~2023年11月20日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 162,931
受取利息	10,911
支払利息	△ 173,842
(B) 当期損益金(A)	△ 162,931
(C) 前期繰越損益金	51,956,485
(D) 追加信託差損益金	11,667,215
(E) 解約差損益金	△ 3,277,566
(F) 計(B+C+D+E)	60,183,203
次期繰越損益金(F)	60,183,203

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型)	2,966,566円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	2,724,520円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	2,711,846円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	2,590,474円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	2,527,335円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	2,515,903円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	2,210,674円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	2,119,621円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	2,007,890円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	1,628,892円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,491,640円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	1,412,860円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	1,339,040円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	1,149,232円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,145,161円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	1,074,934円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,020,693円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (毎月分配型)	907,086円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース> (毎月分配型)	669,935円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	665,580円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	629,892円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	521,457円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)	416,840円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース> (毎月分配型)	282,290円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	278,281円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	217,015円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	212,322円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	169,198円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	138,420円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	111,354円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	98,223円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,222円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	98,222円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	98,222円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	98,222円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,222円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	98,222円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	98,222円
三菱UFJ /マッコーリー オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	97,104円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース> (毎月分配型)	89,620円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	89,287円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	87,384円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	74,308円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	60,179円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	50,114円
テンブルトン新興国小型株ファンド	49,097円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	44,142円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	30,651円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	20,635円
パリュウ・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
パリュウ・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円

バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	9,822円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド (予想分配金提示型)	9,822円
<DC>ベイリー・ギフォード ESG世界株ファンド	9,822円
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド (予想分配金提示型)	9,822円
<DC>ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	9,821円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配コース)	9,820円
グローバル・インカム・フルコース (為替ヘッジなし)	983円
グローバル・インカム・フルコース (為替リスク軽減型)	983円
米国株式トレンド・ウォッチ戦略ファンド	983円
合計	3,333,531,344円

[お知らせ]

- ①新NISA (成長投資枠) の要件対応のため、デリバティブ取引にかかる投資制限について記載整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2023年7月3日)
- ②委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。
(2023年10月1日)